

資料 2

西東京市公民館運営審議会
令和4年度第2回定例会議

令和4年度 公民館主催事業計画書

令和3年度～5年度公民館事業計画における基本方針

- 1 開かれた公民館
- 2 問いかける公民館
- 3 地域とともに
- 4 地域の中につながりを

公運審提出日 令和4年6月15日

	実施館	事業名	基本方針	期間・回数	事業概要	主な講師等
1	田無	ギャラリー田無公民館	1	6月下旬から令和5年3月下旬	田無公民館きらっと側の広いガラス窓面をショーウインドウ化し「ギャラリー田無公民館」として開設。パネル3枚分の展示スペースで、外を通る人が展示作品に気づき鑑賞しながら田無公民館へ入って来られる導線とする。会員募集中の田無公民館利用団体が交代で約1か月間、展示する。団体名と活動内容を明示し、新規会員獲得にもつなげる。	
2	田無	田無公民館サークル見学月間です	1 4	①7月1日から7月31日 ②11月1日から11月30日 2回	該当月に見学可能な活動日がある新規会員募集中の田無公民館登録団体を一覧化し、見学希望者に案内する。参加団体に対しては、目的や手順等を説明する会を行う。事業終了後は報告会を開催し、団体の感想意見、見学者の声等を全体で共有する。	

3	田無	小学生と保護者で楽しむ講座 水辺の生物	1	8月20日(土曜日) 8月21日(日曜日) 9月4日(日曜日) 10時から12時 全3回	第1回では、南沢湧水を見学後、落合川に生息する水棲生物を採集し川魚や水棲昆虫の種類を調べる。第2回では、リニューアルオープンした田無公民館で武蔵野台地の東久留米の川の特性を学ぶとともに、ロビー壁面に採集した水棲生物などの拡大写真等を生息層等アドバイスを受けながら親子で飾り、壁面水族館を製作する。第3回では、落合川や黒目川に生息する魚類の種類と生態について学習する。	東久留米・川クラブ 北村沙知子(多摩六都科学館学芸員、研究・交流グループ)
4	田無	曜日別サークル1日ロビー見学会・体験相談会と田無ロビーフェスタ	1 4	8月29日(月曜日)から 令和5年3月12日(日曜日) 全8回	会員募集中の田無公民館登録利用団体で、開催日該当曜日に活動する団体が、田無公民館ロビーにて活動報告や発表を行い、興味のある市民が事前申込制で見学する。見学前後に、実際の活動日に見学できるか、全く初めてでも参加できるかなど、サークルに相談できる体験相談コーナーもロビーに設ける。団体打合せ・報告会を行い、実施の目的、手順、団体の感想意見、見学者の声等を全体で共有する。	
5	田無	地域から孤立をなくすヒント 5 ～ひきこもり当事者と家族を ひらく～	1 4	9月18日 10月2日 10月16日 日曜日 14時から16時 全3回	「ひきこもり」支援が社会的に広まり多様化している一方で、支援の多くが「語れる人」「動ける人」を対象とした支援であり、「語れない人」「動けない人」人に対する支援が行き詰っている。ひきこもっている人たちが、「語れる／語れない」「動ける／動けない」に分断されている傾向もみられる。「ひきこもり」当事者の調査によると、「ひきこもって」いても、日常的に家族などと話をしている人が7割であることがわかった。それをもとに、家族間のコミュニケーションを改善することにより、生きづらさの軽減、「ひきこもり」状態の改善のためのプロセスを模索する。	森田智子(NHKディレクター、不登校経験者) ぼそっと池井(いけい)多(だ) (「ひきこもり親子クロストーク」 主宰、『HIKOPOS』著者・編集者) ドラマキャスト(フォーラムシアター の役者と進行役を兼ねる): 5人 鈴木 剛(精神保健福祉士、「オ ンリーワンクルー」主宰) ファシリテーター:5人

6	田無	女性のための講座（保育付き）自分らしさを大切に楽しく子育て・自分育ち	1 2	10月18日から12月20日 火曜日 10時から11時45分 全10回	<ul style="list-style-type: none"> ・女性史を学び、意識下の男尊女卑観・男女不平等の歴史から、人権意識を持って生きることの大切さを学ぶ。対象を子育て期の市民に限定せず、さらに対象を広げた公開講座を行うことで、世代を超えて市民が共に学び、交流する視点を持つ機会とする。 ・発達障害の有無にかかわらず、子どもの自立に繋がる子育て・自分育ちについて考える内容とする。 ・大人と子どもの目線・視野の違いを体感し、子ども格差について学ぶ。 ・公民館保育室の子どもたちが、異年齢の子どもや他者とのかかわりの中で、互いに成長する場とする。 	江刺昭子（女性史研究者、ノンフィクション作家。『樺美智子、安保闘争に斃れるれた東大生』など著書多数。） 堀内祐子（自閉症スペクトラム支援士、傾聴心理士。著書『発達障害のことハッピーに暮らすヒント』など） 堀内謙人（小学校5年生でアスペルガー、ADHD、中学校2年生でLDの診断を受ける） 西村説子（NPO法人CAPセンターJAPAN就学前プログラムトレーナー、NPO法人埼玉子どもを虐待から守る会理事）
7	芝久保	サロンコンサート ～クラシック音楽で夏の思い出を～	1	8月21日 日曜日 14時から15時	子育て中の現役世代や小学生以上の青少年が参加しやすいように、日曜日にコンサートを開催する。	西東京ジュニア・ユースオーケストラ団員：7人
8	ひばりが丘	教養講座 ドキュメンタリー映画作家佐藤真を知る	1 2	8月21日から 10月23日 金曜日 14時から16時 全4回	深い人間洞察とユーモアの滲む独特の作風で評価の高いドキュメンタリー映画を遺した佐藤真監督をとりあげる。分断と二極化が進み、他者に不寛容になっていく現代において、佐藤監督の作品が描く世界の多様さ・複雑さに触れることで、異なる価値観を受け入れる社会のあり方を考えるきっかけを提供する。	畠山容平（映画監督） 筒井武文（映画監督） 小林 茂（映画監督） 森 まゆみ（文筆家） 神谷丹路（翻訳家・佐藤監督の妻）
9	ひばりが丘	サークル見学・体験会	1 3	9月1日（木曜日）から 10月31日（月曜日） 各サークルの活動時間	公民館で行われているサークル活動を、公民館に未だ足を運んだことのない人をはじめ市民に広く知ってもらう機会として、また、地域で学ぶ、地域で繋がるという市民の学習や地域交流への意欲を満たすための情報・機会を提供するために、サークル見学・体験会を開催する。	

10	保谷駅前	人権講座 子どもの権利を考える ～西東京市子ども条例すごろくをつくろう！～	1 2 3 4	8月28日 9月4日 9月11日 日曜日 10時から12時 全3回	西東京市子ども条例を理解し広く市民に広める事を目的に、昨年度に引き続き行う。今年度は、子どもの権利条約普及のためのすごろくを参加者みんなで体験した後に、子どもの権利擁護委員（子どもオンブズマン）の必要性とその仕事を学び、参加者みんなで「西東京市子ども条例すごろく」づくりを行う。出来上がったすごろくを印刷し、西東京市の「子ども食堂」などに配り、条例の普及に役立てる。	木村真実（西東京市子どもの権利擁護委員、東京経済大学教授、弁護士） 野村武司（東京経済大学教授、弁護士、前西東京市子どもの権利擁護委員）
11	保谷駅前	防災講座 No More 後悔！ 被災経験者から学ぶ明日への備え	1 3	8月28日 9月11日 日曜日 14時から16時 全2回	災害に対する平時からの備えの必要性は理解していても、後回しにしてしまいがちな市民が、実際に被災した方からのお話を聞くなどして、災害を自分事として捉えなおし、自助・共助の必要性について実感を伴いながら学ぶ機会を設ける。そして、いざという時に向けて、平時から何を心がけ準備すればよいのかを具体的に学ぶ場とする。 ※本講座は「東京学芸大学教育支援専攻生涯学習コース」で学ぶ学生有志と一緒に企画実施する。	小野修平（ジョージ防災研究所代表 防災アドバイザー） 熊本地震被災者（調整中。自身も被災しながら住民支援を行った人。オンライン参加）
12	保谷駅前	社会問題講座 不登校の子どもたちと共に歩む社会	1 2 3 4	9月25日から 10月30日 日曜日 10時から12時 全5回	不登校の子どもたちの居場所づくりは、西東京市の大きな課題のひとつでもある。本講座は、子どもたちの不登校から私たちは何を学ぶべきか、公民館に求められているものは何かを考え合い、不登校の子どもたちと共に歩む地域をどうつくっていくかを考え合うことを目的とする。	長谷川俊雄（白梅学園大学教授、ソーシャルワーカー） 高橋 薫（西東京市ニートひきこもり対策事業「We」担当者、文化学習協同ネットワーク所属） 新井文昭（東京都立大学教授） 高島美希（産業カウンセラー） 中山裕子（IPPO不登校を考える親の会） 田崎吉則（つくしの会） 小林智幸（でこぼこ西東京） 小野修平（ぼくるーむ）